

**修道中学校・修道高等学校 インターアクトクラブ**  
**2025 年度（2025 年 6 月～2026 年 5 月）活動報告書**

|          |                                                                    |
|----------|--------------------------------------------------------------------|
| 顧問教師（参与） | 2025 年度 筆頭参与：栗本潤 参与：恵島聖，谷本理紗<br>2026 年度 筆頭参与：栗本潤 参与：恵島聖，谷本理紗       |
| 構成員      | 2026 年度 会長（班長）戸井健吾 副会長（副班長）森川智喜，井町衣吹<br>中学・高校 計 25 名（6 年生 14 名を含む） |

## 1. 2025-2026 年度の活動内容

今年度は SB の全国大会出場や文房具のリサイクル活動など、多岐にわたっているインターアクトクラブの活動に新しい活動が加わり、インターアクトクラブの活動が昨年に増して活発化することができた一年でした。「奉仕魂は永遠に」という修道インターアクトクラブの共通の目標に向かって活動した結果、様々な方々にインターアクトクラブを知っていただけたことなどが成果であると考えています。

## 2. 具体的な活動の報告・感想

### 【指導者研修会】

2025 年 5 月 31 日に行われた指導者研修会では、平和公園周辺で平和に関する活動を行いました。

最も心に残ったことは、平和の鐘の裏には国境のない世界地図が書かれているということで、今日の世界は分断されつつあるため、毎日の日常が幸せであることを感じ、国境のない世界地図のような平和な世界を築くために戦争を回避し、対話による解決を目指す考え方が世界中で広がっていくことを願いたいと感じました。



### 【地区大会】

8 月 2 日、3 日に山口県山陽小野田市で行われた地区大会に参加しました。宇部伊佐専用道路や UBE グループの見学をして、普段できないような貴重な体験をすることができました。

二日目には山陽小野田市の観光協会会長の永山さんの講演を聞きました。山陽小野田市や山口県の魅力についてのお話の時は、自分が知らなかった山口県の観光スポットを知ることができました。

沢山の学びや知識を得た貴重な経験となりました



### 【署名活動】

昨年8月、私達は女学院高校の皆さんとともに、核兵器廃絶を訴える署名活動に参加しました。炎天下の中でも修道魂を胸に、日本の方々だけでなく海外の方々にも英語で思いを伝え、多くの署名をいただくことができました。活動後には平和や核廃絶についてのグループディスカッションを行い、学びや考えをさらに深めることができました。

被爆81年を迎える今、広島の惨劇を風化させず、平和な未来を築くために、私たち若者が行動し続けることが大切だと感じています。今回の活動を第一歩として、今後も平和活動に積極的に取り組んでいきたいです。



### 【あしなが学生募金】

10月25日高校生を主として計六名であしなが学生募金に参加しました。10月とは思えない寒さ、そして雨も降っており、傘をさしながらの活動になりましたが、二時間ほど声を出し続け、その結果多くの方からご協力をいただきました。

特に印象的だったのは若い方からもご協力いただいたことで、1人の人間の持つ力や共感する温かさを感じました。今後もこの様な輪を広げるべくインターアクト班の一員として、社会貢献を続けていきます。



### 【文化祭バザー・募金】

2025年11月1日、2日の文化祭では、今年から新しく点字体験ができるコーナーを設け、来てくださった方々に点字の打ち方や読み方を紹介して、実際に点字を打ってもらうという活動をしました。これは、自分たちの視野を広げる活動になったと考えています。

インターアクトクラブについて知っていただくだけでなく、ボランティアの精神を大切にする事の素晴らしさを、来てくださった方々には伝えることができるように活動しました。また、ロータリークラブ様からの品々のご寄付のおかげで、2日間、例年にも増して、大変盛況なチャリティーバザーを行うことが出来ました。



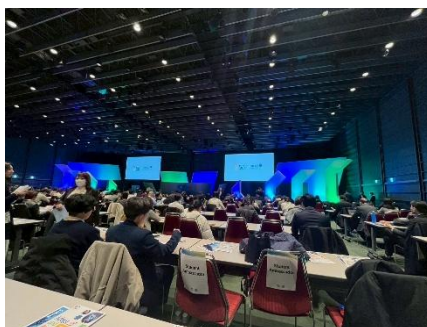


## 【SB (Sustainable brands)】

2月に東京で開催された Sustainable brands 東京丸の内という、企業のサステイナブルな取り組みについて話し合う国際会議に、中国地方の高校生代表として4名が参加しました。全国から行政や企業の講演を聞き、他の地方の高校生とディスカッションや互いの地方や社会全体が抱える問題について発表しました。

これに先立ち、11月に広島大学で開催された中国地方大会には8名の班員が参加し、広島テレビ、オタフクソース、イズミなどの企業の持続可能な活動について学びました。発表に向けては、広島県議会議長や永岡商事、イズミなどを訪問し、中国地方の郷土料理について発表しました。

この経験を通して、広島中国地方の魅力を再発見し、環境や人権、社会課題について考える貴重な体験となりました。



## 【ハワイとの交流】

僕たちは6月と3月にハワイにある Waiakea 高校の生徒の方々とリモートで交流しました。最初は少し緊張していましたが、生徒の方々がフレンドリーに接してくれたのですぐに打ち解けることができました。お互いの活動や、文化について紹介し、学ぶことができました。

普段海外の方々と関わることのない僕たちにとってとても貴重な体験になりました。再びこういった機会があれば参加したいと思いました。



## 【車椅子清掃】

私たちは日赤病院と県病院で車椅子清掃の活動を行いました。主に車輪についたサビや汚れなどを落とし、車椅子を使う方々が少しでも心地よく使っていただけるように丁寧な作業を心がけました。医療従事者の方から感謝の言葉をいただいたときにはこの活動が誰かの役に立っていると実感しました。

1回1回の活動を大切にしながら、来年度も定期的に清掃を行っていききたいと思います。



### 【河原清掃】

私たちは2～3ヶ月に一度のペースで近隣の河原の清掃活動を行っています。

河原清掃に参加し、見た目以上に多くのゴミが落ちていることに驚きました。空き缶やペットボトルだけでなく、タバコの吸い殻やアイスのバーなどもあり、マナーの悪さを実感しました。作業を進めるうちに少しずつきれいになり、達成感を感じました。

今回の経験から、環境を守るためには一人ひとりの意識が大切だと感じました。

### 【海岸清掃】

私たちは今年度初めて江田島・切串の海岸清掃活動に参加しました。

実際に海岸を訪れると、発泡スチロールやペットボトル、牡蠣の養殖によって出るごみなどが大量に漂着しており、海洋ごみ問題の深刻さを身近に感じました。瀬戸内海の美しい景観や豊かな自然環境を守っていくためには、一人ひとりが環境保全への意識を持ち、清掃活動に積極的に取り組むことが大切だと感じました。今回の活動を通して、海を守ることの重要性を学ぶことができました。これからも海岸清掃に積極的に参加し、瀬戸内の美しい海を未来へ残していきたいです。



### 【こども食堂ボランティア】

毎月第二木曜日、己斐西集会所にて「えがお食堂」という子ども食堂のお手伝いを行っています。主な活動内容は食事の配膳やお片付けのサポート、子供たちの遊び相手、食堂運営のお手伝いです。現在は、修道だけでなく学院や清心の学生も参加しています。

3年前から始まったこのボランティアは、開始当初小学生だった子供たちが次々に中学生となりその姿を見せなくなってしまった一方で、新たに「えがお食堂」を利用するようになったちびっ子たちが加わるなど、時の流れを感じながらも子供たちの成長のサポートができていると実感しています。

第一回から携わってきた我々黄色バッヂは今年で引退となりますが、これからも後輩たちへとつないで継続していきたいと思います。

## 3. 2026-2027 年度の課題と抱負

今年度は、あしなが学生募金などの対面活動に一層注力し、社会に貢献する機会を広げていきます。一昨年から参加している核兵器廃絶の署名活動に加え、伝統である河原清掃や車椅子清掃も、誇りを持って誠実に継続してまいります。

昨年度力を入れていた「こども食堂」では、子どもたちと全力で遊び、寄り添う「日常的な交流」を何より大切にしました。大掛かりな企画ではなくとも、日々の関わりの中で信頼関係を築くことこそが地域貢献の本質であると考え、先輩方から受け継いだ奉仕魂を胸に、班員一同活動に取り組みます。